



## 新たに独立した SUSE が顧客の真のニーズに応えるオープンイノベーションをさらに推進する体制へ

SUSE は今後も改革を続け、お客様とパートナーを成功に導きます

NASHVILLE, Tennessee (SUSECON2019) | 2019 年 4 月 2 日

このたびは完全に独立した SUSE®は、お客様のニーズに焦点を当て、最適なテクノロジー、サポート、およびサービスを提供して、企業独自のデジタルトランスフォーメーションを取り巻くビジネスニーズに対応していきます。独立したことによりその体制が十分に整ったことを市場で実証します。SUSE は、企業の事業にとって最適なソリューションを構築する方法を提示します。それにより、お客様はデジタルトランスフォーメーションを実現するための自由度と柔軟性をもたらす広範なオープンソースベースのエコシステムを利用することが可能になります。

「確かに SUSE の数年前からの成長と革新は目を見張るものでした。しかし、当社はまだ新たな一歩を踏み出したばかりです。」と、[SUSE の最高経営責任者 \(CEO\) であるニルス・ブラウクマン \(Nils Brauckmann\)](#) は述べています。「SUSE は、本業の成長と買収を通じて、さらなるイノベーションをお客様とパートナーにもたらすための体制が整いました。これにより、企業が自らの市場で顧客と共に前進するためのオープンソリューションを提供し続けることができます。私たちは今後も改革を続け、お客様とパートナーを成功に導いていきます。」

SUSE 事業の好調なモメンタムは最近の成長と発展に反映されています。2018 年度の売上高は約 15%増加し、初めて 4 億ドルを突破しました。そして、世界のすべての地域で売上が増加しました。

SUSE は人材に多額の投資を続けていますが、成長の大部分はエンジニアリング部門によりもたらされています。販売とサービスがそれに続いています。過去 12 か月間に 300 名以上が新たに加わった結果、現在の人員は世界で 1,750 名に達しようとしています。SUSE は、34 か国にわたり 75 の異なる国籍を代表する従業員を擁するグローバル企業として今後も活動を続けます。

451 Research で首席アナリストを務めるジェイ・ライマン (Jay Lyman) 氏は次のように述べています。「SUSE は、独立したことでクラウドネイティブや DevOps などの新興市場にも積極的に

投資しながら、Linux が主な選択肢であるオペレーティングシステム市場においてその強みを維持できるに違いありません。SUSE は以前の親会社による投資の恩恵を受けてきましたが、今や過去の成功や市場を超越した新たな機会を最大限に活用できる体制を手にしたのです。」

今日の企業においては、ハイブリッドおよびマルチクラウドソリューション、アプリケーションデリバリー、コンテナ化、およびマイクロサービスに対するニーズの高まりとともに、クラウドとデータセンターソリューションに対する需要も引き続き旺盛です。SUSE のオープンアプローチは、お客様が思い描いたとおりのデジタルトランスフォーメーションを実現します。

SUSECON におけるその他のニュースとして、SUSE は、[新たなハイブリッドおよびマルチクラウド機能とアプリケーションデリバリーインフラストラクチャ](#)を提供します。これにより、お客様が自らの方法と求める速さでデジタルインフラストラクチャのトランスフォーメーションを実現するための支援をします。

- [SUSE Cloud Application Platform 1.4](#) が今月中に利用可能になります。このリリースは、完全に Kubernetes ネイティブなアーキテクチャの基で Cloud Foundry Application Runtime を導入した最初のソフトウェアディストリビューションです。
- 現在 SUSE は、[Kubernetes 公認サービスプロバイダ \(KCSP\)](#) として、SUSE Cloud Application Platform、および SUSE CaaS Platform アプリケーションデリバリーソリューションを使用する企業に対して比類のないサポートとサービスを提供しています。
- SUSE はパートナーニュースで、[Microsoft Azure 上の SAP HANA ラージインスタンス用の最初のエンタープライズ Linux イメージ](#)の提供開始を発表しました。Azure 上の SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications イメージは、Azure 上で一貫したビルドと管理機能を提供することでカスタマーエクスペリエンスを向上します。
- 今年 4 月には、最新のエンタープライズ向け OpenStack Cloud プラットフォームも、[SUSE OpenStack Cloud 9](#) として提供する予定です。OpenStack Rocky をベースとした SUSE OpenStack Cloud 9 は、SUSE OpenStack Cloud と HPE OpenStack の最高技術を単一ブランドリリースとして統合した最初のバージョンです。
- SUSE は、今年初めに SAP HANA ワークロードを伴う Intel Optane DC パーシステント・メモリ用に最適化された[最初のエンタープライズ Linux](#) となったことに続いて、[第 2 世代 Intel Xeon Scalable プロセッサのサポート](#) (以前のコードは「Cascade Lake」) を発表しました。

今週、ナッシュビルで開催される [SUSECON](https://www.suse.com) では、SUSE が「オープン」を単なるオープンソースコードを超えるものとして再定義し、パートナー、お客様、およびコミュニティメンバーのコラボレーションと選択肢に投資していることを提示します。「My kind of open」というテーマで開催される SUSECON において、SUSE は、どこにでも導入できる柔軟性を備え、デジタルトランスフォーメーションとビジネス成長を推進する最新のソフトウェア定義型インフラストラクチャとアプリケーションデリバリーソリューションのオープン性を実証します。SUSE の事業やソリューションについての詳細は、 [www.suse.com](https://www.suse.com) をご覧ください。

## SUSE について

SUSE は、オープンソースソフトウェアのパイオニア企業であり、信頼性の高いソフトウェア定義型のインフラストラクチャとアプリケーション配信ソリューションを提供することで、企業のコントロール能力と柔軟性を高めています。その卓越したエンジニアリング能力、圧倒的品質のサービス、他の追随を許さないパートナーエコシステムは、25 年以上の歴史を誇り、これに裏打ちされた製品とサポートは、顧客企業が複雑な要素を管理し、コストを削減し、自信を持ってミッションクリティカルサービスを提供できるよう支援しています。また、長期的な関係を構築することで、現在および将来にわたり、顧客が成功する上で欠くことのできない、より高度なイノベーションの開発・提供を実現しています。詳細については [www.suse.com](https://www.suse.com) をご覧ください。

###

著作権 2019 年 SUSE LLC。不許複製。SUSE および SUSE ロゴは、米国およびその他の国における SUSE LLC の登録商標です。すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ】

SUSE ソフトウェアソリューションズジャパン株式会社 広報代理

クレアブ株式会社 担当：宮津

TEL : 03-5404-0640 Email : [suse@kreab.com](mailto:suse@kreab.com)